

# **英語の文型**

**1 番大切な知識を**

**初めに覚えよ！**

# 5文型の理解

英語を正しく読んだり聞いたりするためには、  
**文型と品詞の知識**が必須です。

英語は**文構造**に基づいて、  
意味やイントネーションが決定するので、

5文型理論の**正しい理解**が本質的な  
英語学習に繋がりますよ。

**英語の根底にあるもの**なので完全に  
理解すべきです。

# 英語の文型とは

正しい**英語の文章**は、5つのパターンで構成されています。

英語は「**SVOC**」の組み合わせによって、どんな文章でも**5つのパターン**に当てはまります。

英文を構成するためには、**S（主語）**、**V（動詞）**、**O（目的語）**、**C（補語）**の4つの要素を、正しい順番で組み合わせることが必要ですよ。

# 英語の文型/基礎知識

英語の5文型を理解する前に、

S	⇒	主語
V	⇒	動詞
O	⇒	目的語
C	⇒	補語

の4つの要素を理解すべき。

なぜなら「SVOC」の組み合わせで  
**完全な文**が構成されて、

全ての英語は、完全な文 (5文型) と  
修飾語「M」によって成立しているから。

英語の文構造によって、**大まかな意味やイントネーション**が決定するので、

**文型を見極める力**が大切なのです。

まずは「**SVOC**」の**4つの要素**が、  
どの**品詞**（名詞、動詞、形容詞）によって  
成り立っているかを理解する必要がありますよ。

「S」 → 「Subject」 **主語**  
「V」 → 「Verb」 **動詞**  
「O」 → 「Object」 **目的語**  
「C」 → 「Complement」 **補語**

「S」 主語になれる品詞 → **名詞** (None)  
「V」 動詞になれる品詞 → **動詞** (Verb)  
「O」 目的語になれる品詞 → **名詞** (None)  
「C」 補語になれる品詞 → **名詞** (None)、  
**形容詞** (Adjective)

英文を作るための要素「SVOC」が、  
どの品詞と対応しているのかを覚えましょう。

# 英語の文型 | 5つのパターン

正しい英語は、5つのパターン  
(5文型理論) で構成されています。

文型が分からなければ  
正しい日本語訳ができないため、

必ず覚えるべき英語の**基礎知識**です。

5文型理論や文型、品詞、修飾などの  
「専門用語」を最初に暗記していれば、

効率的な英語学習に取り組めるので  
思い切って暗記しましょう。

## 5文型/5パターン一覧

第1文型 SV 「Sは存在する、～の状態にある」

第2文型 SVC 「S=Cである」

第3文型 SVO 「SがOを(Oに)Vする」

第4文型 SVOO 「SはOにOを与える」

第5文型 SVOC 「SはOがCするのを～する」

# 英語の文型 | 第1文型【SV】

第1文型は、**S（主語）**と**V（動詞）**だけで  
英文が完成します。

「SはVの状態にある」という意味で  
用いられることが多く見られますよ。

**「存在」「移動」「自己表現」**などを  
表現することができ、  
「SV+M（修飾語）」の型が頻出です。

☑ 第1文型 | 例文  
I live ( in Tokyo.)  
S V (M)

「SV」で英文が完成しており、  
動詞の後には修飾語「M」が続いて

「具体的情報」を追加しています。

第1文型で使われる動詞は「**自動詞**」と呼ばれ、  
動詞の後に目的語を取りません。

自動詞かどうかは、目的語の有無で判断します。  
動詞の直後に注目してみましょう。

## 英語の文型 | 第2文型【SVC】

第2文型は、「S（主語） + V（動詞） + C（補語）」  
で構成されます。

「S=C」の関係性が成立して、  
SがCの状態になっていることがわかります。

第2文型で使われる動詞は限定されており、  
「be動詞」や「知覚動詞」が代表的ですよ。

「be動詞」が使われて、「be動詞＋名詞」  
「be動詞＋形容詞」の形であれば、  
SVCの**第2文型である**と判断できます。

SVCで**イコール関係**の英文は、  
トピックセンテンスであることも予想でき、  
「A=B」のような「絶対的な事実」を表現できますよ。

☑ 第2文型 | be動詞 + 名詞

**I am a teacher.**

私は先生です。（私=先生）

☑ 第2文型 | be動詞 + 形容詞

**She is beautiful.**

彼女は美しいです。（彼女=美しい）

「be動詞 + 名詞」「be動詞 + 形容詞」の  
どちらのパターンでも、「S=C」の関係性が  
成立するのです。

さらには、「知覚動詞＋形容詞」のパターンも覚えておきましょう。

☑ 第2文型 | 知覚動詞＋形容詞

**She looks happy.**

**S V C**

彼女は幸せそうに見えます。（彼女=幸せ）

「動詞＋形容詞」のパターンが存在するので、特別なパターンとして覚えておきましょう。

数はそんなに多くはないため、出会った瞬間にインプットすればいいと思います。

## ☑ SVCでよく使う動詞

1. look (～のように見える)
2. seem (～のように思われる)
3. sound (～のように聞こえる)
4. appear (～のように見える)
5. get (～になる)
6. make (～になる)
7. become (～になる)
8. feel (～の感じがする)

## 英語の文型 | 第3文型【SVO】

第3文型は、「**S(主語)+V(動詞)+O(目的語)**」で構成されます。

「SがOを(Oに)Vする」という  
日本語訳になりますよ。

「SVO」では、V(動詞)の直後に  
**O(目的語)**が必ず来ます。

☑ 第3文型 | 例文

I study English.

S V O

私は英語を勉強します。

study (他動詞) の後には、  
English (目的語) が伴いますよ。

第1文型では「自動詞」が使われていましたが、  
第3文型では「他動詞」が使われます。

動詞を見るだけでは自動詞か他動詞の判断は  
できないため、「目的語の有無」で判断すべきです。

**他動詞を見極めるコツ**としては、  
study（勉強する）を見た瞬間に  
「何を？」と考えるのがオススメ。

その動詞の表す動作が、  
何か対象に向かうイメージ。

**動詞の多くは「他動詞」**であり数え切れないほど  
存在するので、1つひとつ覚えていきましょう。

## 英語の文型 | 第4文型【SVOO】

第4文型は「S(主語)+V(動詞)+O(目的語)  
+O(目的語)」で構成されます。

動詞の後に、目的語が2つあるのが  
特徴となっております、

1つ目の目的語 ⇒ 「O1」

2つ目の目的語 ⇒ 「O2」

と表すことがあります。

大まかな日本語訳としては、  
「SはO1（人）にO2（モノ）を与える」。

「SVOO」の1番の特徴は、  
「V」に「与える系」の動詞が用いられる  
ということ。

全体のイメージとして「**与える**」という  
意味になるので、**第4文型**で使われている動詞は  
かなり捉えやすいですよ。

☑ 第4文型 | 例文

I teach her English.

S V O O

私は彼女に英語を教える。

上記英文で「SVOO」の本質を考えてみましょう。

「英語を教える」⇒「英語の知識を与える」

というイメージで捉えるべき。

英語は文構造によって**大まかな意味**が  
**決定する**ので、このような本質的な考え方が  
学習効率を**最大に**高めますよ。

「SVOO」の形をとる動詞を  
いくつか紹介します。

☑ 「SVOO」の形をとる動詞

1. teach 「人に～を教える」
2. show 「人に～を見せる」
3. offer 「人に～提供する」
4. give 「人に～を与える」
5. send 「人に～を送る」
6. tell 「人に～を伝える」
7. lend 「人に～を貸す」
8. buy 「人に～を買う」

## 英語の文型 | 第5文型【SVOC】

第5文型は、「S(主語)+V(動詞)  
+O(目的語)+C(補語)」で構成されます。

大まかな日本語訳としては  
「SはOがCするのを～する」となり、

「O=C」の関係性が成立しますよ。

☑ 第5文型 | 例文

She makes me happy.

**S V O C**

彼女が私を幸せにさせる。

「私=幸せ」「O=C」の関係性が  
成立していることが、第5文型の特徴。

「私が 幸せ」という「SV」の主述関係が  
成り立っていると考えてもOK。

「SVOC」の中で特に目立つパターンとしては、  
**「使役の英文」。**

日常会話やTOEICでは、  
**使役動詞**の「make」「have」「let」が使われたり、  
**「SVO to do」の型**が使われたりすることが多いです。

「SVO to do」の型であれば、  
**「～させる」「～してもらおう」**のような  
**「要求」「お願い」の意味**を持つ英文になりますよ。

英文の構造によって大まかな日本語訳が決定するので、  
文型の理解が**英語学習において最も大切**です。

# まとめ | 英語の文型（5文型理論）

英語の文型（5文型理論）について  
徹底解説してきました。

各文型における特徴を理解した上で、  
正しい英語学習を進めることによって、  
自身の英語の土台を作れますよ。

英語は単語を並べる順番が最も大切であり、  
文構造によって意味やイントネーションが

決定するので、基礎知識として  
5文型を定着させる必要があるのです。